

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【今後のスケジュール】 良質な芝生の維持管理を行い、サッカーキャンプ定着に向けて取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定した。
1	②	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R3	市産商品の売上増加を図るため、市産商品の販売力強化支援を行う。	・セミナーの開催 ・市産商品のブラッシュアップ ・通販サイトへの販路開拓	南城市地域物産館における年間売上15%増(前年度比) 売上目標額 4,500万円以上	【今後のスケジュール】 コロナ禍においても販売が出来る物流の仕組みを構築するとともに、コロナ収束後は、これまでのノウハウを活かした市内イベントの自主運営を行い、市産商品のPR及び販売活動を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の目標値を参考に設定した。
1	③	南城市まつり実行委員会支援事業	H28 ～ R3	南城市ファンを増加させリピーター獲得を図るため、南城市まつり実行委員会がまつりの開催に合わせて実施する市民と来訪者との交流促進に係る取組に要する経費を補助する。	南城市まつり実行委員会への補助 ・南城市まつりの企画・運営 ・オンライン配信 ・イベント等の分散実施	市外からの参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 南城市まつりを通じて創出した南城市ファンに対し定期的なアプローチを行い、リピーターとして定期的に再訪してもらえるような仕組みを作るとともに、創出されたプログラムを通じて新たなリピーター獲得に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の中間目標値を設定した。
1	④	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。また、アーカイブを活用した観光誘客コンテンツについて、追加制作する。	・歴史資料のデジタルアーカイブ化及び公開 ・文化財観光コンテンツの追加制作:3エリア ・普及イベントの実施 ・運用ガイドライン策定	文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上	【今後のスケジュール】 継続してアーカイブの充実化および利用普及の取り組みを行い、地域の観光振興および文化振興を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体の類似事業の実績を参考に設定した。
1	⑤	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽へ向かう市道1号線に聖地の雰囲気合った暑さ対策のための休憩施設を設置する。	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	【R4成果目標】 市内滞在時間 1.65日以上 【今後のスケジュール】 通りの関係者と協働で清掃活動やイベントを実施し、通りを盛上げ滞在時間を増やしていく。	【R4成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の中間目標値を設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数:50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	【今後のスケジュール】 優良繁殖牛を継続的に更新していくため、営農指導を行い、優良な子牛の品質及び価格向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数:50頭	乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	【今後のスケジュール】 生産乳量の増加と高品質な乳質を維持するため、営農指導等を行い、酪農家の経営安定化を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 前年度の実績を勘案して設定した。
3	①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	既存防犯灯のLED化607灯	二酸化炭素排出量の削減 62,901kg-CO2以上/年 削減	【今後のスケジュール】 事業効果を市広報誌等で周知する事により、市民に対しても、地球温暖化対策の意識啓発を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 防犯灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。
4	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員9名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の個々の学力に応じた学習指導を行い、学力向上に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・市内5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置 ・市内8小学校:特別支援教育支援員34名配置 ・市内4中学校:特別支援教育支援員8名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
4	③	学習支援教材ソフト整備事業	R2 ～ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を高めるため、市内小中学校に整備された電子黒板で稼働する指導者用デジタル教科書を整備する。	市内中学校5校(久高中含む)に、主要教科のデジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 今後もICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	④	ICT支援員派遣事業	R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員4人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。
5	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	・「南城市の民俗」「大里の民話」刊行(各400部) ・「民俗編」会議(2回)、調査、原稿執筆 ・学習会の開催(2回)	学習会への参加人数 30人以上×2回	【今後のスケジュール】 R4以降も市の歴史・文化の調査研究および成果の普及を継続し、その継承を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
5	②	奥武区文化振興施設整備事業	R2 ～ R3	奥武区における伝統行事、芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の実施	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の完了	【R4成果目標】 ①地域の文化関連イベント等の開催15回以上 ②施設利用者 800人以上 ③(施設利用者アンケートによる)奥武区の伝統文化等に対する認識の向上が図られた割合 80%以上 【今後のスケジュール】 R3:実施設計等、建築、備品購入 R4:供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 類似規模施設の実績等を勘案して設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。